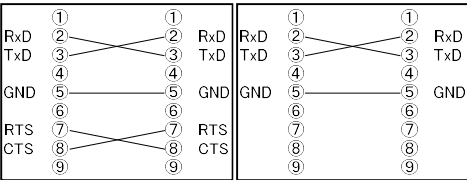


## 【RS-232C】計測器との通信がうまくできない時のチェックシート

### 計測器がリモート状態にならない時

No.	確認内容	確認結果
1	<p>正しい接続ケーブルを使用していますか？  <b>インタリンク用結線</b>か<b>クロス結線</b>を使用してください。</p> <p>※RS-232Cのケーブルには下記の3種類があります。</p> <p>①ストレート結線            ②インタリンク用結線（ハードフロー制御機能使用時）            ③クロス結線</p>  <p>▲インタリンク用結線      ▲クロス結線</p>	
2	9pin-25pin変換機を使用している場合 内部でストレート、クロス結線の場合があるので、使用するケーブルと組み合わせた状態で <b>クロス結線</b> となっているか確認してください。	
3	USB-RS232C変換器を使用している場合 変換器のドライバが正しくインストールされているか確認してください。 Windowsではデバイスマネージャーで確認可能です。	
4	COMポート番号を確認してください。 Windowsではデバイスマネージャーで確認可能です。	

### 通信設定の確認

No.	確認内容	確認結果
	<p>測定器のIDをご確認ください            例) *IDN?            HIOKI, RM3545, 123456789, V1.00</p>	
5	通信スピードは合ってますか？ パソコンと計測器の設定を同じにしてください。	
6	フロー制御を使用している場合 ・「HARD」時はインタリンクケーブルを使用して下さい。 ・「Xon/Xoff」時は、インタリンクケーブルまたはクロスケーブルを使用して下さい。	
7	データビットは「8」、パリティは「なし」、ストップビットは「1」になってますか？	
8	ターミネータはパソコンと計測器で同じ設定になっていますか？（「CR」または「CR+LF」）	
9	PLCを使用している場合は、初期設定が上記と異なる場合があるので確認してください。	

### 通信確認

No.	確認内容	確認結果
10	付属CDのサンプルアプリで計測器と通信できるか確認してください。	
11	「Teraterm」等のターミナルソフトで計測器と通信できるか確認してください。	
12	通信ソフトを自作される場合は、付属CDのサンプルプログラム（Visual Basic）を参考にしてください。 （単純な1回測定、コマンド送受信の基本、オープン・ショート補正の終了を待つサンプル等）	

### こんな時は？

No.	確認内容	確認結果
13	<p>計測器本体から「ピッ！」と音がする場合、コマンドエラーまたは実行エラーが発生していますので、以下を確認してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コマンドの綴り</li> <li>・コマンドを1つずつ送り、どこでエラーが発生しているか確認</li> <li>・通信スピードやデータビット</li> </ul>	

### それでも解決できない

No.	確認内容	確認結果
14	<p>パソコン、計測器本体を再起動してみてください。            ドライバ等をインストールした後など改善される場合があります。</p>	